

しょう ふくしけいはつし だい かい
障がい福祉啓発誌 第6回

しょう ふくし に ゆー す
障がい福祉 NEWS



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

きょうと ひがし しょうかく
京都サンガF.C. 悲願のJ1昇格へ



キレイなサンガスタジアム by KYOCERA へようこそ

©KYOTO.P.S.

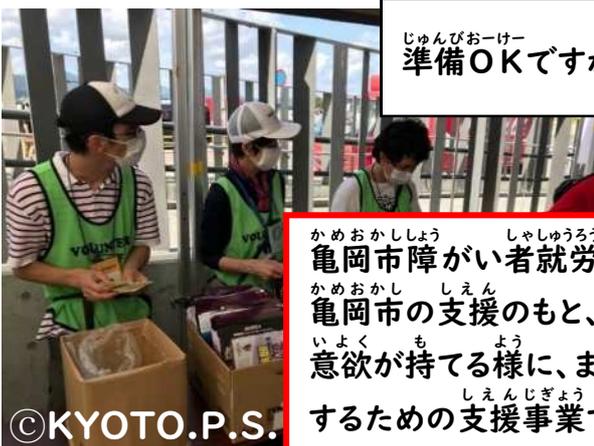
しょう しゃしゅうろうし えん いっかん かめおかししょうがいしゃ
障がい者就労支援の一環で、亀岡市障害者
しゅうろうし えんきょうどう
就労支援共同センターはサンガスタジアム
ばい きょう せら おこな しあいまえ
by KYOCERAで行われる試合前に、スタジ
アムの運営補助の仕事をしています。来場者
うんえいほじょ しごと らいじょうしゃ
のみなさんが気持ちよく施設を利用できるよう
に、一生懸命に取り組んでいます。



ざせき ひと ていねい ふ
座席を一つずつ丁寧に拭きあげています。

©KYOTO.P.S.

©KYOTO.P.S.



じゅんぴおーけー
準備OKですか？

©KYOTO.P.S.



せつめい き
説明を聞いているところです。

©KYOTO.P.S.

かめおかししょう しゃしゅうろうし えんきぎょう
亀岡市障がい者就労支援事業とは
かめおかし しえん しょう ひと はたら
亀岡市の支援のもと、障がいのある人たちが働く
いよく も よう はたら かんきょう じつげん
意欲が持てる様に、また、働きやすい環境を実現
しえんきぎょう
するための支援事業です。

わんだふる ダブルなまち 亀おか

視覚障がい者の
社会参加を広げよう

亀岡には未来の盲導犬を育成する
(公財) 関西盲導犬協会があります。
この施設では盲導犬を育成し、目の
不自由な人への無償貸与、啓発活動
を行っています。



自然豊かなまちでのびのびと未来の盲導犬が育成されています。

【チラシ配架場所】

亀岡市役所内(障がい福祉課・エントランスホール・開かれたアトリエ)

市内各図書館、各文化センター、その他の公共施設にもありますので、詳しくは障がい福祉課までお問い合わせください。

(電話 25-5031
FAX 25-5511)



亀岡市では、「盲導犬の育成を応援したい!」という想いに応えるため、ふるさと納税制度を活用した「盲導犬が育つまち応援事業」を行っています。地元、亀岡で育成されている盲導犬で視覚障がい者が活躍できる社会を目指すため、応援よろしくお願いします。みなさんのあたたかい気持ちが「盲導犬の育つまち」をつくれます。

亀岡市は令和4年に福祉都市宣言40周年を迎えます。

し やくしよしょくいんお ちょうかくしやう ひと い し そつうけんしやう
市役所職員向け「聴覚障がいのある人との意思疎通研修」

がつ にち がつ にち おこな
10月25日・11月22日に行われました。～市民のみなさんとつながるために…～



しんがた
新型コロナウイルスによってマスクが新しい生活様式になりました。
 マスクの着用で表情や口の形が見えなくなり、伝えにくい・
 伝わりにくいということに気づきました。



ようやくひつき こうしやう はや せいかく つた たいけん
要約筆記の講習では早く正確に伝えるポイントを教えていただき、体験しました。

ふくしじゆうじしゃ ひと ごと
福祉従事者の独り言



しょう ふくしか ぎやうせいてつづ かか ほんとし す せいねんこうけんせいど りやう かた しえん しごと
障がい福祉課で行政手続きに関わって半年が過ぎました。これまでは成年後見制度を利用している方を支援する仕事をしておりまし
たし、行政手続きに関わることが多かったので、障がい福祉課での仕事につきましても「数か月あれば慣れるだろう。」と考えていました
が、現実それほど甘くはありませんでした。福祉制度自体は多岐にわたりますし、その内容も複雑なため、頭に入れるのも大変です。
「これだけ制度が複雑だと市民の皆様にとってもかなりわかりにくいのではないかと？」そんなことを考えつつ、「だからこそ私のように
行政事務に関わる者が制度を理解し丁寧に説明をしなければならぬ。」と自分を鼓舞し、諸先輩方に教を乞いながら老体に
鞭打って業務に従事しております。

かんが わたし しょうろう よ ねんれい たつ ねんれい しごと かんれん あら しごと
考えてみれば、私もいわゆる初老と呼ばれる年齢に達しており、そのような年齢で、これまでの仕事に関連するとはいえ新たな仕事
に従事するとは自分でもよく思い切ったと思います。昔勉強した論語に「三十而立、四十而不惑、五十而知天命」という一節がありま
した。この言葉に従いますと、初老というならば、「ものの道理がわかり感わされない」、又は「天から与えられた使命を悟る」状態にな
ければなりません。しかし、私の現状を見てもみますと情報に振り回され感うことが多いですし、天から与えられた使命が何かわからずに
おります。

てんめい し いた じぶん すす みち かん ふくしけんけい しかく しやく
もっとも、天命を知るに至っておりませんが、「自分の進むべき道」がようやくわかったように感じております。福祉関係の資格を取得
しようと思立ち、勉強を始め、試験に合格。晴れて資格者となったときに、障がい福祉の分野で仕事をする機会を得ました。これを
偶然とみるべきかどうか人によって判断は分かれると思いますが、私は自分の進むべき道が啓示されたと考えました。今後、どのような
形になるかわかりませんが、目の前に開けた道を天から自分に与えられた道と信じて、歩んでいきたいと考えております。

ひと

「マスクをつけることができない人がいます」

広報プロモーション課と人権啓発課と協力し、
障がい福祉課の窓口にあるデジタルサイネージと
市公式Facebook、障がい福祉課Facebookに掲載しました。

マスクをつけることができない人がいます。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、
外出時はマスクを着用することが
新しい生活様式の一つとされていますが、
つけたくてもつけられない人がいます。



いろいろな人がいます。

発達障がい、感覚過敏、脳の障がい、皮膚の病気、呼吸器の病気など、
様々な原因でマスクをつけると肌に痛みを感じたり、
息が苦しくなったり、体に異変が生じてしまう人たちです。

また、聴覚障がい者は口の形や顔の表情を読み取り
コミュニケーションをとるのでマスクを外す時があります

周囲からは、わがままと誤解されたり、厳しい視線を向けられたり、
心無い批判を受けることもあります。

社会全体の理解が必要です。

マスクの着用が当たり前となった今、
マスクをつけていない人を見たら、
まずは「何か事情があるのかもしれない」
と想像してみてください。

障がいや症状があってもマスクをつけられない人がいることを知り、
特性や事情を理解し、
お互いに思いやりの心を持って過ごしましょう。



手話・字幕・音声付きの動画になっていますので
ぜひご覧ください。

障害者週間 (12/3~9)

に向けて動画を作成しました。
壮大な亀岡をバックに手話リレー
形式でメッセージをつないでいま

す。
市公式Facebook、障がい福祉課
Facebookをご覧ください。

霧のテラスにて



保津町 (保津小橋) にて



コスモス園にて



障がい福祉課窓口にて



開かれたアトリエにて

